


<p>[氏名] 長谷川 卓也 京都府出身、1963 年生</p>	
<p>[現職] Birdy Fuel Cells LLC 共同創業者、共同代表、社長兼 CTO 法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科</p>	
<p>[学生へのメッセージ] “This book is about the failure of companies to stay atop their industries when they confront certain types of market and technological change” これは有名な Clayton Christensen 『イノベーターのジレンマ』の冒頭です。ここにあるように、企業の失敗の多くは努力の規模ではなく方向性に起因します。 本コースでは、日本と世界のイノベーション、イノベーションの哲学的系譜、イノベーションの国際的定義と課題、イノベーションとエンターテインメント、技術折盲点の本質、Thomas Kuhn のパラダイム理論における異常科学の価値など、様々な切り口からイノベーションサイエンスを学びます。その過程で、日本の最先端研究の「楽屋裏」における行動経済学的実例を多数参照しながら、現代社会におけるイノベーションの停滞と克服に向けた戦略を展望します。</p>	
<p>[専門分野] イノベーションサイエンス、二次元生産論、燃料電池、水素社会論</p>	
<p>[担当科目] Japanese Management (Fall) Japanese Production Management and Supply Chain Management (Spring)</p>	
<p>[主な経歴] 1989 年 旭化成工業株式会社 (-2006) 1997 年 テキサス大学オースチン校化学工学科客員研究員 (-1999) 2006 年 日産自動車株式会社 (-2020) SIR (FCEV リサーチプロトタイプ開発責任者) 2015 年 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 兼任教員 2016 年 博士 (技術経営)、立命館大学 2020 年 東京ガス株式会社 (-2021) SIR (水素事業研究開発責任者) 2021 年 東京工業大学環境・社会理工学院 特任教授 (-2022) Abalance 株式会社 執行役員 (-2024) Birdy Fuel Cells LLC 共同創業者、共同代表、社長兼 CTO</p>	
<p>[主な研究業績スラッシュ社会的活動] 1) リチウムイオン電池用セパレータ 2) 微多孔構造形成における低レイノルズ数流体力学計算機シミュレーション 3) 燃料電池用電解質膜およびプリーツ型加湿モジュール (開発責任者) 4) ディーゼルエンジン用窒素富化空気モジュール (開発責任者)</p>	

- 5) 新構造燃料電池スタック及びロータリー生産設備（開発責任者）
- 6) 燃料電池自動車リサーチプロトタイプ（開発責任者）
- 7) Roll-to-Stack 連続生産技術（開発責任者）

[研究業績]

- ・ Koyama, M.; Hasegawa, T.; Kajikawa, Y. Roadmap of Energy Technologies for Envisioning Future Energy Systems. In Energy Technology Roadmaps of Japan; Kato, Y.; Koyama, M.; Fukushima, Y.; Nakagaki, T., Eds.; Springer: Tokyo, 2016; pp. 13-19.
- ・ Hasegawa, T.; Gemba, K.; Ishida, S. Self-sustainability of emerging hydrogen refuelling stations and FCEVs in Japan. International Journal of Business and Systems Research 2015, 9, 375-393.
- ・ 長谷川卓也. (2014). 燃料電池自動車市場の創出～自立経済的水素供給インフラの構築～. 環境情報科学論文集, 28, 119-124.
- ・ 長谷川卓也. (2015). 燃料電池自動車市場の創出～ZEV の現状とイノベーション理論の拡張～. 環境情報科学論文集, 29, 147-152
- ・ 長谷川卓也. (2016a). 10 年後の車: 燃料電池量産技術の革新に向けて. 化学工学, 80(2), 86-90.
- ・ 長谷川卓也. (2016b). 燃料電池自動車の課題と展望. エネルギー・資源, 37(1), 22-27.
- ・ 長谷川卓也. (2019). 蓄電池 vs 水素 vs 科学哲学. 水素エネルギーシステム, 44(4), 230-237.
- ・ 長谷川卓也. (2020). 電気化学デバイスと 2D manufacturing. 化学工学, 84(1), 18-21.
- ・ 長谷川卓也. (2020). 再生可能エネルギー貯蔵の社会実装に向けて, エネルギー・資源, 41(4), 216-220.
- ・ 長谷川卓也. (2020). 燃料電池および水電解装置の低コスト製造方法と展望. Journal of Japan Solar Energy Society (太陽エネルギー), 46(6), 31-39.
- ・ 長谷川卓也. (2021). 水素による再生可能エネルギー貯蔵の社会実装. エネルギーと動力, 2021 年秋季号 297, 32-46
- ・ 長谷川卓也. (2024). 未来予測に基づく研究開発テーマ創出と市場分析の進め方. 技術情報協会 2024 年 1 月 10 日

[社会活動]

- ・ 2010-2013 International Energy Agency, Hydrogen Implementing Agreement, Task28 LARGE SCALE HYDROGEN DELIVERY INFRASTRUCTURE, Expert of Japan
- ・ 2012- HyGrid 研究会 委員
- ・ 2012- 化学工学会次世代エネルギー社会検討委員会 委員
- ・ 2015-2016佐賀県産業労働部「電力貯蔵手段としての水素」研究会 委員
- ・ 2016-2018 立命館大学テクノロジー・マネジメント研究科 特別研究員
- ・ 2016- 化学工学会社会実装学創成研究会 特別会員
- ・ 2016-2019 日本学術振興会「未来を創造するイノベーションサイエンスの創成」先導

<p>的研究開発委員会 委員・副委員長(2018-2019)</p> <ul style="list-style-type: none"> 2018-早稲田大学環境総合研究センター 招聘研究員
<p>[コンサルティング アドバイス業務]</p> <ul style="list-style-type: none"> 2011-2013 経産省戦略的基盤技術高度化支援事業「炭化紙を利用した固体高分子形燃料電池用ガス拡散層の開発」委員 (アドバイザー)
<p>[所属学会・団体]</p> <p>GERPISA</p>
<p>[資格・表彰]</p> <p>知的財産管理技能士2級、作業環境測定士1級、自動二輪大型</p>